

2014年秋期
受講生募集!



Peace Boat Global University

英語で学ぶ!

アジアに学ぶ!

アジアの学生と学ぶ!

ピースボート地球大学

特別プログラム

2014年10月2日(木)～10月15日(水) [成田発・羽田着: 14日間]

「多民族アジアにおける社会の結束:未来のリーダーを育てる」
Social Cohesion in Multiethnic Asia:
Nurturing Leaders of the Next Generation

平和で豊かな社会を築き維持するためにはどうしたらいいのか。昨今、社会の結束力 (social cohesion) に注目が集まっています。結束力の高い社会を築くことは、紛争を予防し、紛争後の復興を支え、社会が再び暴力に巻き込まれないような仕組みづくりの根幹となります。また、開発に関する各種の目標を達成していく上でも重要な役割を果たします。

2014年秋期の地球大学・特別プログラムでは、アジアの若者が近隣諸国の同世代とともに、それぞれの国や地域に見合った社会的結束のありかたを話し合う機会を提供します。

グローバル人材育成のための
ピースボートの新たなプログラムです。

ピースボート地球大学とは

ピースボート地球大学は「地球一周の船旅」を活用した国際交流・平和教育のためのプログラムです。訪れる各地域での現場体験と洋上ゼミを合わせ、地球規模の問題を自分の問題として考える視点を養い、理解を深めていきます。平和な社会を築く当事者として、これからNGO・NPOや国際機関、地域活動など、さまざまな領域で活躍したい若者が、必要な知識や経験、行動力を身につけ、世界にはばたくことを目的としています。

※「ピースボート地球大学」は、NGOピースボートがコーディネートする教育プログラムです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

アジア発、世界を変えるリーダーになる

自然災害、温暖化、紛争、貧困など、多くの危機に見舞われるこの時代、先の見えない社会や未来の不安を、誰もが感じているのではないのでしょうか。今、そのような時代を牽引していくリーダーが求められています。専門知識を武器に、現場の声を確実に拾いながら、思いやり(empathy)と情熱(passion)をもって、地球規模の課題を解決に導ける人材。そんな未来のグローバル人材のために、ピースボート地球大学・特別プログラムを開講します。



プログラムの特徴

アジアの学生と学ぶ

日本、スリランカ、カンボジア、シンガポール、ミャンマー(ビルマ)など、アジア各国からの若者の参加を予定しています。それぞれが独自の視点や意見を持って、与えられたテーマに取り組みます。同じ課題をいくつかの切り口から考えることを学び、広い視野で問題点や解決策を吟味します。

英語で学ぶ

プログラムはすべて英語で行います。人から学び、人に伝えるための意思疎通のツールとしての英語を思いきり試せる環境があります。英語を第二言語とする人どうしの交流につきものなミスコミュニケーションなども乗り越えながら、グローバルコミュニケーションを体当たりで実践します。

アジアに学ぶ(エクスポージャー)

「エクスポージャー」とは「さらけだす」という意味。寄港地で自らをさらけだして現地に暮らす人々とともに考え学びます。スリランカ、シンガポール、カンボジアの3寄港地で、「生の声」を聞きながら、他人事ではなく「自分事」として何ができるか考えます。



伊勢崎賢治

【東京外国語大学教授、元国連シエラレオネ派遣団武装解除担当部長】

ナビゲーター

マリオ・ゴメス【人権弁護士・コロンボ大学講師】



スリランカ出身。人権弁護士として活躍するかわら、コロンボ大学(スリランカ)で教鞭をとる。コロンボにある紛争研究機関「ベルゴフ財団」に所属し、対話やワークショップを通じたスリランカ紛争後の平和構築に尽力している。

コーディネーター

川崎哲【NGOピースボート共同代表 核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員】



東京都出身。平和、軍縮のアドボカシー活動をしながら恵泉女学園大学や立教大学で教鞭をとる。2009年、核不拡散・核軍縮に関する国際委員会でNGOアドバイザーを務めた。著書に『核拡散』(岩波書店)、『核兵器を禁止する』(岩波ブックレット)など。

サポートスタッフ

畠山澄子【NGOピースボート】



埼玉県出身。高校時にUnited World College(イタリヤ)に留学。大学進学前の2008年にボランティア通訳としてピースボート地球一周の船旅に参加。その後、ケンブリッジ大学進学・卒業。シンガポールのアジア欧州財団勤務後、現職。

プログラム概要

洋上ではスリランカ、ミャンマー(ビルマ)、シンガポール、カンボジアをテーマとしたワークショップや講義、ディスカッションが行われ、寄港地では現地の団体と提携してエクスポージャーを行います。

UNIT 1

紛争後の社会の復興と社会の結束【10/3—10/5】

スリランカでは、25年にも及んだ紛争の終結によって、やっと一つの国としての未来を考えることができるようになりました。しかし、持続可能な平和は簡単には成し遂げられません。これからの10年、若者がどのように社会を作り上げていくかがカギとなります。前向きな変化を起こしていくために必要な知識とリーダーシップとはなんのでしょうか。

コロンボでのエクスポージャー【10/3—10/4】

スリランカ最大の都市コロンボで現地の市民運動やNGOについて聞き取りを行います。現地の大学生との交流も予定されています。コロンボ大学のマリオ・ゴメスさんが同行予定です。

UNIT 2

紛争を起こさせない社会へ【10/6—10/7】

軍事政権が長く続いたミャンマー(ビルマ)では、民主化への動きが活発化しています。民主化が進んだことにより、報道の自由が生まれ、娯楽も解禁されるようになりました。しかし、路上での抗議活動は依然として続き、これまで行われてきた不当な抑圧も決して簡単に忘れられるものではありません。急激な変化に直面するミャンマー(ビルマ)の現状を通して、アジアにおけるガバナンスや民主主義を考えます。

旅行日程

参加者は2014年10月2日(木)に日本を出発、空路でスリランカ入りし、現地でエクスポージャーを行った後に、第84回ピースボート地球一周の船旅を実施中のオーシャンドリーム号に乗船します。シンガポールに寄港し、シアヌークビル(カンボジア)にて下船。プノンペンでエクスポージャーを行い、2014年10月15日(水)に帰国します。

●最少催行人員:5名 ●使用客船:オーシャンドリーム号 ●利用予定航空会社:シンガポール航空(SQ)、シルクエア(MI) ●利用予定宿泊ホテル:【コロンボ】グランド・オリエンタル・ホテル、レスカ・シティ・ホテル 【プノンベン】カルダモンホテル、タウンビューホテル、アジアチェーンホテル、グリーンパレスホテル、ダイヤモンドホテル ●食事:朝食12回、昼食11回、夕食11回 ※機内食は含みません。 ●添乗員:本船以外は同行しません。現地係員がお話しします。

0:00~ 4:00~ 6:00~ 8:00~ 12:00~ 18:00~ 23:00~
深夜 早朝 朝 午前 午後 夜 深夜

日程	スケジュール	食事	宿泊
10/ 2 ㊦	午前 成田空港発、空路、シンガポールへ シンガポールにて乗り継ぎ、コロンボ(スリランカ)へ 深夜 コロンボ着、着後ホテルへ	機機	コロンボ市内のホテル泊
10/ 3 ㊦	終日 エクスポージャー	朝昼夕	コロンボ市内のホテル泊
10/ 4 ㊦	終日 エクスポージャー 夜 コロンボ港にて本船に合流 コロンボ出港	朝昼夕	
10/ 5 ㊦	クルージング	朝昼夕	
10/ 8 ㊦	洋上ゼミに参加		オーシャンドリーム号泊
10/ 9 ㊦	朝 シンガポール入港 深夜 エクスポージャー シンガポール出港	朝昼夕	
10/10 ㊦	クルージング	朝昼夕	
10/11 ㊦	洋上ゼミに参加		
10/12 ㊦	朝 シアヌークビル入港 午後 本船を下船、陸路、プノンベンへ 午後 エクスポージャー	朝昼夕	プノンベン市内のホテル泊
10/13 ㊦	終日 エクスポージャー	朝昼夕	プノンベン市内のホテル泊
10/14 ㊦	終日 自由行動	朝	プノンベン市内のホテル泊
10/15 ㊦	午前 空路、シンガポールへ 夜 シンガポールにて乗り継ぎ、羽田へ 羽田空港着	機機	

UNIT 3

グローバル化と多民族主義【10/8—10/10】

多民族国家の成功例として取り上げられることが多いシンガポールですが、昨今「新たな移民」に対する排外主義が無視できなくなってきました。そのような中で、住宅・言語・雇用政策が再検討され、賃金格差や人種間関係も見直されています。多文化に対して寛容であることは国の誇りであるという自負を多くの人が持ち続けている一方、社会の結束がゆらぎ始めているのも現実です。

シンガポールでのエクスポージャー【10/9】

現地で移民労働者を支援する活動を行うTransient Workers Count Too(TWC2)が行う“Day School”を通して、移民労働者が置かれる状況について学び、移民が多く住む地区を視察します。現地の大学で移民政策を学ぶ学生との交流も予定しています。

UNIT 4

正義、和解、そして平和構築へ【10/11—10/13】

カンボジアでは、1970年代後半のクメールルージュ(KR)政権のもと、餓死や拷問、処刑などによって200万人もの人たちが命を落としました。以後、国連の協力のもとカンボジア特別法廷が設置され、自国民大量虐殺を行ったKR政権幹部の裁判が行われてきました。このユニットでは、国レベルだけでなく、国民一人一人が前進していくための、広義の「正義」「和解」「復興」に必要な取り組みを考えます。

プノンペンでのエクスポージャー【10/12—10/13】

大量虐殺の現場となったキリングフィールドなどの視察の他、名古屋大学日本法教育研究センター(カンボジア)の受け入れのもと、法律の専門家や現地の学生と意見交換をします。開発問題に取り組む若者の活動をまとめるCooperation Committee for Cambodia主催の交流イベントも行われます。

旅行代金

(大人お一人様代金)

382,000円

※船室は4人相部屋、窓無し、シャワー・トイレ完備 ※別途、諸費用として査証取得費用4,300円、船内チップ4,500円、ポートチャージ5,400円が必要です。日本国籍以外の方は査証の取得にかかる費用が変わる可能性があります。別途ご相談ください。



応募から参加まで

① 応募書類の提出

■応募資格

以下の③から①のすべてを満たす方。

- ③本プロジェクトの趣旨に賛同し、「地球大学・特別プログラム」の全行程に参加できること。
- ⑥2014年10月2日時点で18歳以上35歳以下であること。
- ⑤ディスカッションを含む英語でのプログラムに支障なく参加できる語学力を有すること。
- ④日本、スリランカ、シンガポール、カンボジア、ミャンマー（ビルマ）に関して、以下のいずれかひとつを満たすこと。
 - ①いずれかの国籍を持つ。
 - ②いずれかの国に関して強い関心を持ち、過去に研究や活動の経験を有する。
 - ③いずれかの国に在住し、勉強をしたり、働いたりしている。
- ⑦年代や国籍を問わず、他の参加者と協力しながら活動できること。
- ⑧プロジェクト参加後もトピックに関して活動を続けていく意欲を有すること。

■応募書類提出方法

件名を「地球大学・特別プログラム 応募用紙希望」として、下記のメールアドレスにメールをお送りください。ピースボート事務局より、応募用紙をお送りします。必要事項を記入し、締切日までにメールにてご提出ください。応募用紙はピースボートの英語のサイトからもダウンロードできます（www.peaceboat.org/english）

お問い合わせ・応募書類提出先

Email: univ@peaceboat.gr.jp

Tel: 03-3363-7561 Fax: 03-3363-7562

■締切日

2014年9月19日[金] 日本時間 | 17:00必着

※日本国籍以外の方は査証の関係上、お早めにご連絡ください。
※日本以外に在住で、現地集合・現地解散のプログラムを希望する方は別途ご相談ください。

② 受講の可否

■選考方法

受け付けた応募書類を、上記「応募資格」の観点から審査します。審査の必要に応じて、個別に面接をさせていただく場合があります。結果はピースボート事務局よりご連絡します。

③ 申込書の提出

■旅行のお申し込み

「第84回クルーズ」ピースボート地球大学・特別プログラム申込書を(株)ジャパングレイスにご提出ください。

旅行条件(要旨)

お申し込みの際は、別途お渡しする旅行条件の内容をご確認の上お申し込みください。

本旅行条件は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、(株)ジャパングレイス(以下当社といいます)が企画・実施する旅行です。お客様とは当社と募集型企画旅行契約を締結するものです。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の10%に当たる金額をそえてお申し込みください。当社が申込書と申込金の受領が確認できた時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

- ①旅行日程に明示した船舶、列車、航空機、バス等の運賃。特に記載がない限り列車は普通車、航空機はエコノミーです。
- ②旅行日程に明示した船内宿泊。
- ③旅行日程に明示したホテルの代金。ホテルは二人部屋に2名様相部屋となります。
- ④旅行日程に明示した食事代。
- ⑤旅行日程に明示した洋上ゼミとエキスパーチャー費用。
- ⑥船舶および航空機関(航空機関の場合は利用航空会社規定による)の手荷物運搬料。
- ⑦添乗員および現地係員の同行費。
- ⑧国内の空港施設使用料、保安サービス料、および、海外の空港使用諸税、保安税。
- ⑨航空機の燃油サーチャージ。

4. 旅行代金に含まれないもの

前項3項以外は旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示します。

- ①渡航手続費用、寄港地のポートチャージ、船内及びホテルでのチップ
- ②クリーニング代、電話・ファックス・インターネットなど通信費、飲み物代など個人的費用
- ③海外旅行保険

5. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

- ①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日前以降10日前まで……旅行代金の10%
 - ②旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日前以降10日前まで……旅行代金の20%
 - ③旅行開始日の前日から起算してさかのぼって9日前以降旅行開始日まで……旅行代金の50%
 - ④旅行開始後の解除または無連絡不参加……旅行代金の100%
- 本旅行の使用客船は貸し切り船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係わる旅行代金の払い戻しはありません。

6. その他

- ①海外旅行保険への加入を条件とします。
- ②渡航先のコロナ、シアヌークビル、プノンペンに外務省より「十分注意してください」が発出しておりますが、当社が安全と確認いたしましたので旅行を催行いたします。「海外危険情報」「海外感染症情報」をお客様自身でもご確認ください。
- ③旅券(パスポート)は日本帰国時6ヶ月の残存期間があるもの。
- ④記載事項は2014年8月1日を基準としております。

お申し込みは…



(株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13マリンビル2F
TEL:03-5287-3081(10:00-18:00 定休/土日祝) FAX:03-5287-3083(24時間受付)
総合旅行業務取扱管理者:延原和正・本山誠



(株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25ハービスPLAZA3F
TEL:06-7661-2280(10:30-18:30 定休/日祝) FAX:06-7661-2281(24時間受付)
総合旅行業務取扱管理者:松井美緒

【旅行企画・実施】株式会社ジャパングレイス

観光庁長官登録旅行業第617号 一般社団法人日本旅行業協会 正会員
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 URL:<http://www.japangrace.com>

<個人情報の利用目的>(株)ジャパングレイス及びNGOピースボートでは、お客様の個人情報を契約の履行、当社からの商品・サービスのご案内、及び当社内における調査・研究資料として利用させていただきます。

Coordinated by: PEACE BOAT ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561 FAX: 03-3363-7562 <http://www.peaceboat.org>